

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年10月29日(木)午後7時00分～午後8時35分		
会場	寒河江工業団地会館(緑町)	出席者数	15人 (男12・女3)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>開会の後、次第に従って進められ、市長講話、質疑応答の内容は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長から、当面の課題として、政権交代の中で見直しされている施策など注目しながら市政を行っており、景気雇用の問題や、中長期的な計画としての少子化対策、高齢化対策、市の財政状況等、市の現状について別紙資料により講話が行われた。 ・ 質疑応答の内容 <ul style="list-style-type: none"> 市の自動車税など納めない方もいるのか。 税金はいろいろあるが、生活が大変で納められない方もおりますが、納められるのに納めない方もいる。徴税の努力をしているが所在不明になる方もいる。県では一部民間のプロに依頼しているので、県の実績を見ながら市としても考えていく必要があるのかどうか検討していきたい。 インフルエンザの状況はどうか。 工業高校で約50人が罹患し休校となっており、大人の方にも十分気をつけてもらいたい。 花咲かフェアは入場料が無料となっているが、夜のライトアップなど内容を充実して、30万人の来場者から、環境保全のような形で入場料をとった方がよいのでないか。 県の公園施設を借りて行っている。全国都市緑化フェアが開催され、その後、市として「花咲かフェアINさがえ」として7回目となった。今後どのようにしていくのか検討していくが、最近では、協力金として一人100円以上、バスの駐車場500円の協力をいただき、財源確保を図っている。これからは、環境問題に予算をさいていく必要もあり、協力金をきちっと位置付けをしてお願いしていくことだろうと思う。マンネリ化しないよう内容の見直しを含めて検討していきたい。 「ドッグラン」の無料となっているが、いくらかでも料金をもらってはど 			

うか。

「ドッグラン」については、県の方に話をしておきます。また、隣接する場所にハーブガーデン、バーベキュー、歴史の丘広場の構想で県で進めるとのことです。

花咲かフェアはどのくらいかかるのか。経済効果はどうか。

今年度は2,500万円を執行した。さくらんぼ狩り等の県外からの観光客も入っているが、JAともバックアップして寒河江に観光客がもっと来るように、品質を吟味して悪評が立たないようにしていく必要がある。

緑町内の水路等が赤く汚れがひどく水もくさい。

水路については、現地を見てみて十分検討したい。

技術交流プラザ一帯をきれいにしてほしい。緑町でも協力するが、補助金をもっと出してもらえないか。

技術プラザの公園の樹木の管理など、町会でできない部分もあると思うので、市で対応するよう検討していく。

子ども見守り隊の傷害保険は市で対応できないか。

検討してみる。

信号機のない十字路などあぶないので街路樹の剪定を行ってほしい。

危ないところを優先して実施したい。

高校の再編の説明を聞いてきたが、中間のまとめが来年2月にでる。

西村山の中学校から50パーセントで、他の50パーセントは外に進学している。少子化の中で、もっと地元に残るようにしていけないか。

地元に進学したい、父兄の方が地元に行かせたいということが必要。中学校長ともどのようなことができるか検討してみたい。企業にとってはなくてはならない高校ですし、もう1つは大学進学校ということだと思う。

市営住宅に高齢者が多くトラブルがあり、町会長の立場で班長に指導したこともある。仲良くしてもらえばよいが、こじれると班長も対応できないこともあるので、市として大家さんとしてのモラルを指導してほしい。

また、市営住宅を取り壊す計画はあるのかどうか。

市としての役割があれば、説明していきたい。

長い年数が経過しており、建て替えする場合の方法や、新しいところの家賃の問題など、現在入居している方がどうなのか研究しているところであり、方針を出していきたい。

毎年県縦断マラソンが開催されるが、チームづくりのため、いい選手を発掘してほしい。

雇用の厳しい状況であり、市職員の特別枠採用等はできないが、今年は同じ選手でも順位を上げている。もっと伸びると思うので来年に期待している。

春先、葉山市民荘へ水汲みに行く方が安全に往来できるように市の対応を早めをお願いしたい。

来春の早い時期に草木が邪魔にならないよう対応したい。

「寒河江」の今後のイメージアップ戦略はどうか。

農家の方は「さくらんぼ」はどこにもまけないとしているが、お株を奪われている印象がある。キャッチフレーズやシンボルマークなど、振興計画の見直しをしながら対応していく。市民の皆さんからお聞きして行きたい。

「さくらんぼ」の他にないかないか。

山形県は「さくらんぼ」というイメージが強い。市としても県としてもPRをやっていく必要がある。ブランド品として紅秀峰は、日持ちが良く大阪市場では、早く出してほしいと言っている。生産体制の問題もあるが、早く出していくことが1つの方法でもあるので勉強していきたい。

住宅の太陽光発電装置設置への補助はないのか。

他市で上乘せ補助をおこなっているところもある。環境問題などで余剰発電の売却価格も高くなるのか、雪が降っても大丈夫かなど含めて、市の補助金について検討させてほしい。

後日回答

Q.子ども見守り隊の傷害保険は市で対応できないか？

A. 学校教育課において、全国市長会：学校災害賠償補償保険に加入しており、この中で、学校管理下における活動を支援するボランティア活動については補償の対象となっております。これにより、学校管理下である登下校における子ども見守り隊の活動は、補償対象となっております。

補償内容は、死亡保障・後遺障害補償・入院医療保障・通院医療保障の4種類です。

あってはならないことですが、保険対象の用件が発生した場合は、学校を

通し寒河江市教育委員会学校教育課までご連絡ください。

今後も、市内の子ども達の安全・安心な成長のために、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

Q.緑町内の水路等が赤く汚れがひどく水も臭い。

A. 当該水路の維持管理については、水路管理者である寒河江市と水路を利用している工業団地内企業等とが、調整を図りながら適正な維持管理に努めるよう調整しております。

事業所からの排水については、水質汚濁防止法により排水基準が定められており県が所掌しておりますが、水質は排水基準内であるとのことでした。

平成22年度に下水道全体計画の見直しを行い、公共下水道区域を工業団地へ順次拡大する計画ですので、今後ともご意見を賜りますようお願いいたします。